本中だより
第21号

「満名川」

令和6年10月25日（金）
発行者
校長 根路銘 国哉

★校内合唱コンクール：10/18（金）★

　本部中学校の合唱コンクールが文化交流センターで行われました。学校テーマ「すべての想いと響きをひとつに！　届けよう私たちのハーモニー　創り上げよう本中の伝統を」のもと、各学級では、一人一人の心をつなぐハーモニーを響かせ、グランプリ賞やハートフル賞を目指して取り組みました。どの学級も「想いと響きをひとつに」できた合唱となり、仲間と協力して取り組むことの大切さを改めて実感したコンクールとなりました。各学級の中心となって働いてきた実行委員や指揮者、伴奏者の皆さん、みんなをまとめる取組お疲れ様でした。また、平日の多忙な中にもかかわらず、子どもたちを激励していただいた保護者や地域の皆様に感謝申し上げます。

【生徒の振り返り】※一部修正・抜粋

・合唱コンクールでは、伴奏をよく聞いて声を出して歌うことを頑張りました。でも緊張して声が小さくなってしまったので次はもっと声をだせるように頑張りたいです。心に残ったことは、2年1組の合唱と生徒会のアトラクションです。2年1組は、力強く歌ったり強弱がはっきりしていてすごいなと思いました。アトラクションはいろんなものがあって楽しかったです。次の合唱コンクールは、もう少し緊張しないで歌えるようにしたいです。（1-3**具志堅美緒**）

・最初は、ネガティブな気持ちでしたが、自分なりにできる「声を出す」こと等は頑張りました。最初はみんな笑っていた練習でも、日々練習を重ねるにつれて笑わなくなったのは、「みんなの成長」を感じました。最初高音が出せなくてあきらめていたけど、いつからか、心から真剣になって、一つの言葉も丁寧にしながら歌えたのは、自分なりの成長だと思います。（1-3**具志堅優幸**）

・1回目のリハーサルは合わせることができず、放課後の時間も練習を積み重ねました。次第にそれぞれのパートとも合うようになり、本番では真剣に楽しく歌うことができたと思います。本番の映像と講評を見て、来年のコンクールに向けて生かしたいことは、声を遠くに出すイメージ（声を張る）、口を大きく開けてはっきり聞こえるようにすることです。今年は銀賞でしたが来年は金賞を目指して頑張ります。（1-3**武方さつき**）

・合唱コンクールで頑張ったことは、きれいに大きな声を出すことです。最初は高音が出なかったけど、日々練習していくうちに高音が出るようになりました。心に残ったことはビギャンさんの指揮です。みんなのためにたくさん練習してくれて、すごく上手くできていました。次に生かしたいことは、最初の入りです。最初の入りをよくすればあとから声が出るんじゃないかと思いました。（1-3**知名由依織**）

・合唱コンクールで頑張ったことは、みんなをまとめることと、歌声の強弱を意識したことです。約1ヶ月でクラスの合唱がとても上手くなったと感じました。運動会に続き、クラスが団結して目標を達成すると、とても楽しいし、頑張ってよかったと改めて思いました。最初ははずかしかったのですが、はずかしがらず全力で歌えるようになったことは、自分が成長したところだと思います。（1-3**前泊英尚**）

・

【生徒の振り返り・感想】※一部修正・抜粋

・合唱コンクールで心に残ったことは、伴奏者のゆらさんが伴奏者賞をとったことです。ゆらさんがいつもたくさん練習していることを知っていたので、とても嬉しかったです。次に生かしたいことは、練習を早めに始めることです。一日に何時間も練習をしないと上手にならないので、早めに練習を始めようと思いました。自分が成長したところは、みんなの前で発表することを少しはずかしがらずにできるようになったことです。それは、合唱コンクールでみんなの仲が少しよくなったおかげかなと思いました。（1-3**山城静楠**）

・心に残ったことは、ハートフルになった瞬間です。みんなが喜んで泣いているのに感動しました。地区大会では2年1組の元気の良さを歌に込めていい結果をもらえるようにしたい。力を合わせれば成功することがわかったので、これからは何事にも全力で取り組みたい。（2-1**関口真生**）

・自分が思ったことをしっかりみんなに伝えることを頑張りました。ちゃんと伝えることでみんなが高め合うことができ、ハートフル賞がとれたと思います。「ハートフル賞は2年1組」と言われた瞬間、私は涙がとまらなくて、今年一嬉しい瞬間でした。たくさん怒ったり、怒られたりしたけど、目標に向かってみんなでがんばることはとても楽しかったです。（2-1**山城ひなた**）

・心に残ったことは、みんなで円陣を組んだことです。男子も嫌がらずに素直に組んでくれて、みんな笑顔で気合いを入れたので、1組の良さが見えて、心にささりました。31名でやる方が気持ちよく終われる。一人でも欠けてしまうと、意味がないんだなと改めて学びました。ハートフル賞をとることができたので、地区のコンクールでは、31名みんなで合唱できるといいなと思います。（2-1**平良美麗**）

・合唱本番は、結果が銀賞で悔しかったけど、みんな一人一人が全力を出してハートフルや金賞という目標に向かって頑張ったことが一番心に残りました。行事をすると改めて団結することの大切さを感じるし、学びます。合唱コンクールでもみんなが団結したから全力を出すことができたと思うので、最後の校内駅伝でも2組が団結して、上位に入れるようにしたいです。また、来年の合唱コンクールでは、1，2年でできたことやできなかったことを生かしてグランプリを目標にして頑張りたいと思いました。（2-2**大城愛琉**）

・合唱コンクールで頑張ったことは指揮です。指揮者は合唱でクラスを引っ張らないといけない大事な役割だからです。心に残ったことは、3年生の合唱です。3年生の合唱は歌声がきれいで、どのクラスがグランプリをとってもおかしくないと思いました。次に生かしたいことはクラスでの協力です。最初はまとまりがなく練習がなかなかできなかったから、みんなで協力していい結果を残せるようにしたいです。（2-2**豊里羚央**）

・合唱コンクールでは、男子パートでちゃんと声を出すことを頑張りました。心に残ったことは、指揮者賞や伴奏者賞をとれなかった人に寄り添う友達がいて、慰めた人もいたので、改めて絆や友達は大切だとわかったし、一番心に残った。学んだことは、賞をとったクラスをRespectすることです。相手の頑張りを尊重しRespectすることが大切だと思いました。今回は銀賞だったけど来年は金賞をとれるように頑張りたい。（2-2**大橋怜真**）

・私はアルトで、とにかく声を出すことつられないように歌うことを頑張りました。みんなで練習するときに、息が合わなかったりなかなか団結して歌えなかったりもしたけど、最後の日にはみんなで歌えて、私はそれが一番うれしかったし、心にも残りました。自分の中では絶対ハートフルと思っていたので、銀賞で悔しかったです。来年は今まで学んできた分を生かして歌えるようにしたいです。（2-2**平安山歩夢**）

・今年の合唱コンクールは、最後まで真剣に楽しんで歌うことを意識して頑張りました。2年2組はまとまりがなく、どうなるかと思ったけど、みんな一人一人真剣に歌っていたので成長を感じました。練習では全員そろうことがめったになく、本番も心配だったけど、全員そろって歌うことができました！それが、とても嬉しかったです!!!結果は銀賞で残念だったけど、一人一人が頑張っての結果だと思うので、満足です。もうこのメンバーで合唱できることはないけど、この悔しさを来年の合唱コンクールに生かして、みんなで戦っていけたらいいなと思います。最高の合唱でした☺（2-2**黒島心美**）

・合唱コンクールでは、指揮者賞をとるために動きを大きくするところを頑張りました。練習のときよりも本番では大きく動くことができたのでよかったです。指揮者賞をとれたことが一番心に残っています。最初は不安な気持ちでしたが、とったときに気持ちが爆発して飛び上がりました。（2-3**江藤羚睦**）

・合唱コンクールでは実行委員として頑張りました。放課後練習では最初まとまりがなく自由に行動する人がいて大変だったけど、最後には、意見を出してくれる人やCDを流す手伝いをしてくれる人が増え、協力的な人がたくさんいて嬉しかったです。一番心に残ったことは、パート練習です。パートリーダーがみんなに優しく声かけをしてくれたりしたのでとてもよかったです。（2-3**大城結菜**）

・合唱コンクールでは、パートの声出しや全体練習のハモり、音程の高さなどを意識しながら練習しました。一番心に残ったことは、本番前にクラス全員で円になって気合いを入れたことです。みんなで心一つにまとまって声かけしながら緊張をほぐしたり、意識するところを話し合ったりしたことが心に残りました。（2-3**崎濱結莉愛**）

・最初はまとまりがなくて大変だったけど、一度クラスのみんなで話し合いをしたら、クラスがまとまり、上手く歌えるようになったのでよかったです。みんなが思っていることを言い合ったり、話し合いをすると学級の絆もできてくることがわかったので、来年は地区に行けるようにクラスみんなで団結していきたいです。（2-3**安里美心**）

【生徒の振り返り・感想】※一部修正・抜粋

・自分では結構声が出せたと思っていたけど、実際聞いてみると、そこまで声が出ていなかったので、少し心残りでした。だけど、今の自分がどれくらいまでできているのかが分かったのでよかった。次は、このような心残りがないように歌おうと思いました。自分一人が歌ったところで、何が変わるのかと思っていたけれど、これは間違いだと分かったので、考えを改めようと思いました。（2-3**浦下道隆**）

・グランプリをとれなくて納得いかず、残念な気持ちが大きかったけど、これも思い出に残る行事となった。3年1組は団結力があると思うので、最後の行事で一位をとりたい。放課後の練習では、パートや全体での音取りの時間が楽しく、早く感じました。目標は叶わなかったけど、毎時間協力できた3年1組でよかったです。

（3-1**大城夏凛**）

・中学最後の合唱コンクールを終えて、歌っているときは指揮者だけしか見えなくて、自分がちゃんと歌えているか心配でした。でも、本番で舞台に立ったらあまり緊張しなくてちょっと楽しかったです。2組も3組もまとまりがあって感動しました。グランプリは2組にとられてしまったけど、全力を出せたのでよかったです。（3-1**喜納政義**）

・練習でふざけていた男子がマジメに歌ってよかった。指揮者賞に選ばれなくて悔しかったけど、みんなでグランプリがとれたのでよかったです。地区でも5位以内に入って県までいきたいです。（3-2**石川清吹**）

・最初の頃の練習では、クラスに協調性がなくてやばいかもって思っていた。だんだんとまとまりが出てきて、それぞれが自分の考えを言えるようになった。本番一週間前には、歌のタイミングが合わなかったり、歌詞が覚えられなかったりして大変だったけど、当日は、息を吸うタイミングもそろっていたりパートごとのはもりがきれいにできて、グランプリをとれたからよかった。地区も良い合唱ができるように頑張る。（3-2**古堅碧**）

・最初は自信を持ってはっきりと歌うことができず、モヤモヤしていました。だけど練習を重ねるにつれて、だんだんと歌詞や音程を覚えて、声が大きくなり、はっきりと歌えるようになれたと感じることができました。また、練習では、少し早くなっていたのが、本番では、いいくらいになっていたことに、練習の成果とクラスの結束を感じました。最後の合唱コンクール、みんなで歌えて楽しかったです。（3-2**崎原姫菜**）

・今年は1，2年のときと違い、自分からパートリーダー、実行委員など、積極的にリーダーを務めることができました。パート練習に力を入れ、どこで強弱をつけると迫力が出たり、心がこもったように聞こえるのかなどの認識のすり合わせを大切にしました。本番はそれが出ていたと思います。（3-3**松田千聖**）

・練習では、ソプラノにつられたり、声が思うように出せず、声が小さいとか言われた。アルトの人たちと声出し、強弱を確認することが大変だった。本番では、思っていた以上に声が出ていて、バランスもよくなっていた。練習のときに気をつけていた声出し、強弱に気をつけることができ、自信を持って歌えていたのがよかった。

（3-3**島袋希凪**）

★地区駅伝に向けて★

10月26日（土）、国頭地区駅伝競走大会が今帰仁村運動公園で開催されます。学校代表として頑張っている生徒たちが、放課後の練習や試走会、朝の練習に励んでいます。

スタート時刻は、女子9時00分、男子10時20分となっております。本中代表の子どもたちの応援と激励をよろしくお願いします！

★新職員の紹介★

10月から職員2名が長期休暇をとることとなり、1年生理科と2年生国語の授業を担当する職員が配属することとなりました。それぞれ決められた教科の授業時間のみの応援となりますが、中学校教諭としての指導経験のある先生方です。どうぞよろしくお願いします。

【1年理科】田辺健人先生

【2年国語】玉城伸子先生